

令和3年11月15日

都道府県臨床（衛生）検査技師会 様

令和4年・5年度 日臨技会長候補者選挙立候補について

平素より、日臨技事業に対しご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。この度、日臨技次期役員改選に伴い、会長候補者選挙に立候補することを決意しました。

日臨技執行役員として、会員、役員の先生方に支えていただき、宮島会長のもと、微力ながら日臨技の運営に努めてきました。まだまだ道半ばですが、組織運営において皆様方から一定の評価をいただいていると感じております。

一方で、会員からの声として「国会議員と会長の二足のわらじを履き続けることには無理があり、国政に専念すべきではないか。」「5期・10年間の会長職継続は長いのではないか。」「10年間、会員の判断を仰がず、更に無投票による6期目の会長候補者が決定してよいのか」などご意見もいただいております。宮島会長の6期目に向けた続投の意思を確認した上で、会員からのご意見もあり、組織として問題ではないかとお伝えした上で、協議をさせていただきましたが、会長職継続の意思は変わらぬことを確認しました。私自身、今後も円滑な組織運営を継続する上で、一度、会員の判断を仰ぐべきであると判断し、立候補することといたしました。

会員の皆様方におかれましては、一度立ち止まり、7万人近い会員が所属する日臨技の組織運営がどうあるべきか考えていただく機会としていただければと考えています。

なお、職能団体として、組織内候補である国会議員を有することは、行政や他団体との折衝に大きな力となることも十分理解しておりますので、来年夏の参議院選挙では宮島議員の再選に向けて、全力で取り組んでまいります。

会長候補者選挙の立候補に向けた要旨を添付いたしますので、会長候補者選挙への立候補にご賛同いただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
代表理事副会長

横地 常広